第二次 友好訪華の旅へ

日本学校長 訪中団決る

現場指導者の収穫期待

昨夏につづく中華人民共和国の招へいによる全修協の本年度友好訪問は十一月二十六日から十二月七日までの十二日間、実施と決定した。本年は学校長で編成されており教育現物の指導者が揃って中国を訪れるのはじめてのこと。各学校や人民公社、工場、農村などの見学のほか各家庭訪問も予定され、その収穫は大きいものと期待される。

友好訪華の打ち合わせと講演の会は十一月六日午前十一時から東京・千代田区の近畿日本ツーリストの桑原常務、同中国旅行実施ト本社会議室で開催。全修協・山本理事長をはじめ近畿日本ツーリ

友好訪華の打ち合わせ会で挨拶する全修協山本理事長

部・加藤部長の挨拶につづいて自己紹介があったあと全修協理事・東京都中野区教育委員青山良道氏は「現代中国を識る視点」また、専修大学教授・中国研究所・斎藤秋男氏は「中国の教育革命」と題する講演を行った。そのあと山本理事長から団編成が発表され、団長には山本利三郎氏と決定した。つづいて中国訪問に際しての学習と事務手続きについて協議がかさねられた。

予定の訪問先きは次の通り。

▼北京（清華、重工業工場、天安門広場、人民大会堂、故宮、歴史博物館、頤和園、万里の長城）

▼南京（中山公園、革命烈士陵墓紫金山天文台、南京博物館、玄武洞、学校見学）

▼蘇州（寒山寺、虎丘、拙政園）

▼上海（魯迅遺跡＝旧居・記念館・墓、人民公社、工業展覧会、労働者住宅＝家庭訪問、学校見学と教師との座談会。

訪華団の顔ぶれは次の通り。

【団長】山本利三郎（堺市立湊小学校長）

【団員】鎌田長一（北海道倶知安小学校長）大沢一（札幌市立中の島小学校長）伊藤次郎（酒田市西高校長）助川明（水戸市立第三中学校長）加藤雅信（浦和市立岸中学校長）増田信（東京都立高島高校長）小林昌（埼玉県栗橋東小学校長）青木秦也（五泉市立五泉小学校長）鷹野忠雄（豊川市立東部中学校長）川淵弘保（大阪市立粉浜小学校長）置田友三郎（大阪市立泉尾東小学校長）滝野英一（大阪市立勝山中学校長）森内太喜雄（柏原市立柏原中学校長）矢ノ向弘（高槻市立郡家小学校長）平井博道（私立此花学院高校副校長）岩城忠（愛媛県津島町立清満小学校長）橋詰道信（伊丹市立北中学校長）細見英太郎（神戸市立大池中学校）

【顧問】小室三夫朗（全修協事務局長）

【秘書長】坂本一敏（近畿日本ツーリスト中国旅行実施部）以上敬称略。

京都と奈良へ

＝関修委＝ ことしの現地研修会

【関東支局】本年度・関東地区中学校修学旅行委員会（峰友直会長）の関西方面現地研修会は十二月二日から三日間、京都、奈良を中心に行われる。

ねらいは①京都・奈良に古都の歴史のあとをたずねて、われわれの心のふるさとに、じっくりふれてみたい②修学旅行のコース、見学場所、宿泊地の選定に役立てたい③望ましい修学旅行実施のために、現地の諸機関（旅館、バス、観光協会など）の代表者と懇談する、としている。なお第二日目の奈良では、奈良芸術短大教授・木村芳一氏が講師として指導にあたる。

日程は次の通り。

【第一日】東京―京都―嵯峨野（念仏寺、祇王寺、二尊院―落柿舎、常寂光寺、天竜寺）泊【第二日】岩船寺―浄瑠璃寺―奈良―山の辺の道（大神神社、金屋石仏、海石榴市跡）長谷泊。【第三日】長谷寺―室生寺―名張―名古屋―東京。

会長に瀬尾氏再任

近畿地区運営協開く

【関西支局】あおぞら号近畿地区運営協議会（瀬尾武敏会長）の本年度協議会は十一月九日午前十時から大阪市天王寺区のグリル近鉄に全役員が出席して開催。

五十年度近畿学童共済会会計決算報告を承認したあと役員改選を行い、会長には瀬尾武敏氏が再選された。五十三年度の乗車申し込み方法について原案の通り決定。

①ビスター（往＝上本町発七・三九、伊勢市着一〇・〇〇、復＝鳥羽発一四・〇六、上本町一六・四〇）②臨時列車（往＝上本町発七・五八、伊勢市着一〇・二八、復＝鳥羽発一三・二五）③定期便＝混乗優先乗車（往＝上本町発八・一九、伊勢市着一〇・二四、復＝宇治山田発一四・三五、上本町着一六・五四）運転期間は四月十四日から七、八月を除き十一月二十一日までの八十五日間。

あおぞら号

本年度の役員は次の通り（順不同・敬称略）

【会長】瀬尾武敏（大阪市立堀江小学校長）【常任委員】大熊辰夫（大阪市立天王寺小学校長）中谷富士夫（奈良市立東市小学校長）吉原和夫（神戸市立五位ノ池小学校長）西岡権治郎（全修協大阪支部長）大谷明（近鉄上本町営業局運輸部長）【委員・会計】細呂木見良（大阪市立南大江小学校長）【委員・監査】村田弘（北葛城郡王寺町立王寺小学校長）浅野学（西宮市立春風小学校長）【委員】垣内利夫（豊中市立大池小学校長）森本幸雄（大阪市立市岡小学校長）山本利三郎（堺市立湊小学校長）南博一（貝塚市立北小学校長）川淵勝男（奈良市立椿井小学校長）前川忠雄（御所市立御竹小学校長）森庄作（大和高田市立高田小学校長）谷川光次（神戸市立東灘小学校長）朝倉晃持（尼崎市立玄武庫南小学校長）森口直政（伊丹市立伊丹小学校長）伊藤薫（近鉄鉄道総局業務局営業企画部長）林弘（同業務局営業企画部課長）【特別委員】乾英三郎（元大阪市立南大江小学校長）【事務主幹】八軒敏夫（近鉄上本町営業局運輸部営業課長）小西愈二郎（全修協大阪事務所長）

狩野政一氏の胸像完成

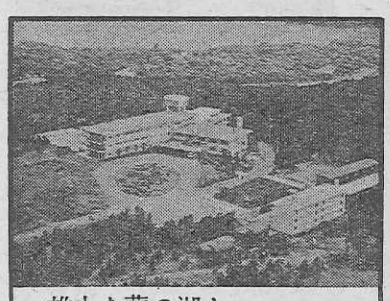
教育界への貢献に感謝

【千葉】全修協千葉県支部長・狩野政一氏の県教育界における大きな功績をたたえ感謝するため県小中学校長会はじめ各教育団体有志が発起人となり同氏の胸像を製作中であったがこのほど定成、十月二十三日、狩野氏の自宅へ届けられた。

製作は久保田淑通氏でブロンズ製の豪華な作品となっている。

狩野氏は公選教育委員となったあと同県議会議員として県内教育界のため大きな貢献をしたが、県議会議員退任にあたって教育界あげて謝意を表することになったもの。

【写真は狩野氏の胸像】



雄大な芦の湖と
美しい湖尻高原

修学旅行専用旅館
箱根高原ホテル
電話　0460（4）8595(代表)

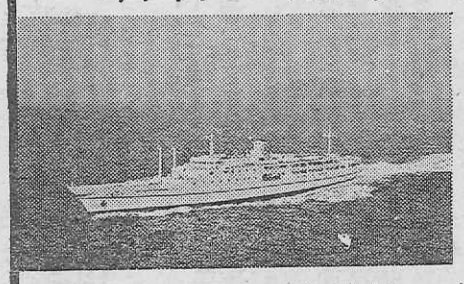
あるくみるきく

ささやかな冊子の名前です。書店にも出さず、これといった広告もしてきませんでした。でも，熱心な読者に支えられて，もう10年も続いて発行しています。旅をする人、土地に住む人の目を通して、その土地のあるべき姿を正確にみつめていきたい――小さな冊子にそんな大きな夢を託しています。

●年間講読料1500円(〒共)近畿日本ツーリストの各営業所か、直接当研究所宛に現金または切手でお申込み下さい。
●見本をお送りします。

日本観光文化研究所
東京都台東区台東1－12－11
第2コモダビル
近畿日本ツーリスト株式会社内

若者・紺青の海・純白の船



貸切専用純客船
ふ　じ　(3,000トン)
にほん丸　(3,000トン)

・スケジュール・コースはご自由に
・旅客定員 1,800名
・サロン・休憩室・医務室完備
・船内でのグループ活動・学習に最適
・全室エアコン完備
・一般客との混乗なし

Ⓐ大島運輸株式会社東京支店　東京都中央区日本橋通1－3－11 浅野ビル9F　TEL 03-273-8911

全国各地 小中高校 全90種
旅のしおり

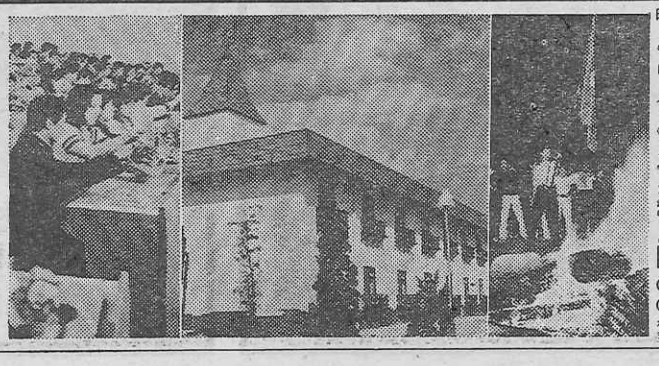
■御校のコースにマッチした「しおり」が用意してあります。見本無料呈。
■北海道から九州まで，小学校から高校まで，あらゆる種別を用意。
■見学地図の裏に御校の「旅行要項」をお刷りしています。資料呈。
■修学旅行の資料ならなんでもおそろえします。ご照会ください。

修学旅行図書・資料出版　〒601 京都市南区西九条鳥居口町5（京都駅新幹線口の南西）
株式会社 教材研究所　電話・代表075-681-1591,2,3,4　振替・京都2539

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。

集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された〈スズカビレッジ〉
●全館冷暖房完備
●防火優秀ホテルとして昭47.7消防庁長官賞受賞

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ…自分でハンドルを握る〝ゆうえんち〟。
国際レーシングコースを走るレーサー気分も……
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで
校歌を歌うひととき――
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も
忘れがたいもの、どれを取っても
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。



昨年一年間で11万人もの学生さんが
この思い出深い修学旅行を体験しています
「人と科学と自然の接点」
今年の修学旅行こそスズカを加えた
《新近畿ルード》をご検討ください。
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。

鈴鹿国定公園 国鉄周遊指定地
スズカランド 鈴鹿サーキット　三重県鈴鹿市稲生町　電話＝0593(78)1111
株式会社ホンダランド　本社：東京都中央区八重洲5-5 ☎03(274)5821　大阪営業所：大阪市北区芝田町57-5 ☎06(372)1526

今も盛んな庚申講

＜2＞

蛯原徳夫

石仏への誘い

庚申塔造立の基になる庚申信仰は、がんらい中国の道教のものでそれによると、人間の身体には三尸（さんし）と呼ばれる虫がいてそれが庚申（かのえさる）の日の夜に、その人の眠りこむのを待って身体から脱け出し、空にいる天帝のもとへおもむいて、その人の犯した罪過を申告する。天帝はその報告に応じて、罰としてその人の寿命を縮める。それでその三尸が体内から出るのを防ぐために、庚申の夜は徹宵して過ごすというのである。

この信仰はすでに奈良時代に日本へ伝わり、始めは宮中の貴族たちのあいだで守庚申（しゅこうしん）がおこなわれ、夜を明かすつれづれに詩歌管絃の宴、いわゆる庚申の御遊がもよおされたが、時代とともにその信仰が武士階級へとさがり、江戸時代に至ってはじめて民間信仰としてひろまり、造塔もさかんに見られるようになったという。この信仰は今日までもなおつづき、各地の農村で庚申講のいとなみがおこなわれているようである。

庚申塔にも本来は一定の形式がなく、始めは庚申の字を刻む文字塔であったが、しだいに仏教を習合して主尊の像やそのほかの添え物が彫られるようになった。主尊は初期は阿弥陀、釈迦、薬師、帝釈などいろいろであったのを、寛文年間のころから青面（しょうめん）金剛にしぼられるようになった。なぜそうなったかについても諸説があるが、古くは現在の結核である伝尸（でんし）病の予防治療を青面金剛に祈ったので、伝尸と三尸との連関から庚申の本尊にもまつり上げられたのだという。

この青面金剛の姿勢は、経文の定め（いわゆる経軌）によると、焔髪、三眼、多臂（たひ＝多くの手）で、髑髏の首飾りをかけ、蛇をまとい、わきに夜叉（やしゃ）や童子をおき、足下に邪鬼をふまえる。しかし実際にはこのとおりのものはなく、もっと簡約化された像容をとる。風貌もはなはだ畏怖すべしとあるのを、あどけない童顔をしていてほほえましくなるのも多い。

庚申塔には主尊のほか、ふつう日月や鶏や猿が添えられる。この添え物については、その理由や出所がはっきりせず、いろいろと説明が試みられているが、いずれも日本古来の神道系のものと見られけっきょく庚申塔には道教と仏教と神道との三要素が習合され、いかにも庶民信仰らしいおもむきを呈している。

日月は主に塔の上部の左右に、瑞雲にのって刻まれているが、どちらが右か左かは一定していない。神社の幟（のぼ）りなどによく日月清明・天下和順の文字が見られるが、庚申塔の日月も農民のその五穀豊穣の祈念のあらわれではないか、とも考えられている。

鶏は多くオスとメスの二羽が向き合う。申（さる）の日の翌日は酉（とり）の日だから、それで猿と鶏とを添えて徹宵を示すのだ、という説もあるが、それより鶏が古くは天岩戸の常世の長鳴き鳥このかた、清浄な鳥として神社などに飼われている、その邪気を祓（はら）う功徳によるのではないだろうか。

猿については、庚申のサルだとか、猿を神使とする山王信仰との結びつきのためだとか、あるいは田の神として招かれる山の神の御使いだとか、といわれる。数は一猿、二猿、三猿、またはもっと多くのものもあるが、三猿がもっともふつうで、それが見ざる、聞かざる、いわざるの姿勢をとる。これは罪過申告を制止するためと思われる。猿たちは合座にならぶがなかには性器を露出しているのもある。猿だけの庚申塔もあり、たとえば東京都牛込の築土八幡社のは、男根を見えるオス猿の前に、メス猿が桃をささげてうずくまる。変わり種としては相州江の島の上津宮の下にある角塔で、日月のほかは四面びっしり猿ばかり、総数三十六匹という。烏帽子をかぶり、扇をふって踊るもの、傘を持って綱渡りするもの、互いに首を紐で結んで引き合うもの……など、千姿万態で見ていて飽きない。この塔を「群猿奉賽像庚申塔」と呼ぶ。＝つづく（聖徳学園短大教授・文学博士＝写真も）

写真は千葉県野田市・愛宕神社の庚申塔（正徳六年の銘がある。）

友好訪華団の記録

全修協主催

民衆は安楽な生活を

＝徹底した政治教育のもとで＝

＜8＞

新井福之助

新井福之助氏

産業労働者は一五万人に増加したため市も発展し、市街地は拡大し、解放前の九・五平方㌔から七二・五平方㌔、人口は九万人から五〇万人と飛躍的に増大、舗装道路一八〇㌔、労働者住宅面積は二三〇平方万㍍におよんだ。解放前は二つしか存在しなかった病院は三七に学校は七校から一四五校（小・中・大学）に発展している。このようにして中国屈指の古都洛陽は近代工業都市へと変貌しつつある。筆者たちはこの洛陽を二泊三日で見学した。

それは①洛陽旧城内（街路せまく古い家並み）②竜門石窟（北魏時代五世紀から唐代まで掘りぬかれた一三〇〇の石窟内に約一〇万体の仏像がある）③洛陽博物館（原始・奴隷社会の遺産から周漢唐代までの付近出土遺物展示、各時代帝王の権力を示し、勤労人民の技術の結晶を評価している。下水道・生産工具）④東方紅トラクター工場（従業員二三、〇〇〇人うち女性六、三〇〇人、トラクターとブルドーザーで年産は二、〇〇〇台、近年は四〇馬力タイヤ式農耕機も生産、ソ連製機械は排除、付属に託児所・幼稚園と小中学校や住宅三七万平方㍍がある。鄭州工場とともに中国屈指のトラクター工場である。唐明帝の離宮跡に建設）⑤工農人民公社南村生産大隊、などであった。

八月二十四日、筆者たちは中国へきて初めて人民公社生産大隊を訪問し、革命委員会や男女農民たち公社員一同から熱烈な歓迎を受けた。この公社は洛陽の南西郊外にあり、農家数五四八戸、二、三四八人で、耕地面積は約一四〇〇㌶うち果樹園（リンゴ・ナシ・モモ・ブドウ）約三七㌶、公社内には農機具修理・化学肥料・練瓦製造の三工場を付設している。合作医療施設と小学校も一つある。

解放前、この地域は荒廃しており、当時農家数は二八六戸、人口一六七〇人、うち三六世帯は乞食流浪の生活、一八四世帯は極貧生活であったという。解放後は互助組合などの組織をへて一九五八年公社が組織されたが、劉少奇路線のため生産は思うように進展せず各種の欠陥に悩まされた。

プロレタリア文化大革命の試練を受けた公社は、その後の学習と闘争を通じて「農業は大寨に学べ」を実践し、生産は一九七〇年より躍進し、七四年には果樹は二五㌧㌶に達し、七五、〇〇〇㌧㌶の備蓄食糧を地下貯蔵庫にたくわえているとのこと。

一九七五年度の小麦収穫予想高は一畝当り五〇〇㌔㌶に達する豊作になろうと発表された。

公社員にはさらに生産大隊で経営している工場内で国家からの要請での農機具製造・修理や養豚などの副業があり、安定した収入を得ている。

筆者は実際に二、三の農家を家庭訪問し、解放前＝文革以前に比較して安楽な生活ぶりを観察することができた。生産大隊は他の五つの大隊と協力して、洛陽市街から導入した汚水を引く配管（七、〇〇五㌔㍍）をつくり、汚水を処理して干天時非常用の灌漑用水化に成功している。またこの大隊は自力で二、〇〇〇立方㍍の大貯水池も建設している。模範的な生産大隊であるが、まだ農業の機械化は低く、未灌漑地も一〇％は残り、農業管理の点でも不十分な点があるようだ。

共同作業所近くの広場で筆者たちを歓迎披露してくれた農民たちの演ずる舞踊や歌には、やはり政治思想が抜けてはいなかった。どこの都市・農村の工場でも学校・幼稚園でもみられたと同様な政治教育である。「台湾同胞・私たちの兄弟。農家の少年、毛主席を熱愛……」にみられる。なんという徹底した政治教育・政治実践であろう。（つづく）＝鴎友学園女子高校教諭。

洛陽の紡績工場を見学。

研修旅行の作品

さいはてを行く

利尻・礼文コース

岡野英雄

宗谷バスにて利尻一周
深緑囲む緑の姫沼
鬼脇民族資料館
往時島民の生活を知る

★

清く輝く「オタドマリ沼」より
眺める秀峰利尻富士
奇岩怪石の御岬公園
寄せる白波岩間に砕く

★

宗谷丸にて礼文島へ
宗谷バス東海岸
金環日蝕観測地
岸壁に立つ記念の碑

★

日本最北限スコトン岬
広漠たる宗谷海峡
はるか彼方に異境を望む
巌頭に立ちて感一入（ひとしお）

★

バスはバックして西海岸
猫岩や地蔵岩
磯の香におう元地海岸
特産メノウを土産に買う

★

礼文ホテルは第三の宿
大広間にて夕餉のご馳走
自己紹介や唄や感想
互に述べ合い親しさを増す

★

利尻丸にて香深を後に
雨の海上、船足はやく
稚内港に上陸し
急行「天北」にて札幌着

★

ホテル・サンフラワーは第四の宿
バイキングにて好きな料理
思う存分いただいて
お土産まとめてぐっすり休む

★

千歳空港より全日空機
眼下にひろがる大景観
眺めるうちに羽田着
ほんとうによかった研修旅行。
（おわり）＝神奈川県横浜市。

遠流の人を想う

佐渡・磐梯・蔵王コース

井上酉三

冬の季節の滑落を
防ぎとどめんためなりと
昨日・今日「相川音頭」「佐渡おけさ」
「両津甚句」と次々に
ドライバー・ガイドの声を合わせたる
心尽しのサービスに
しばしば耳を傾けり
再び乗れるおとめ丸
帰りの波も穏やかに
「荒海」と古人のいいしはうそのごと

○

港に待ちしバスに乗り
阿賀野川ぞいに東進し
東山まで三時間半
自己紹介も面白く
一都十県の同士なり

○

ここの温泉は八世紀
行基菩薩の発見と
伝えて早くその名あり
江戸時代には上の山
湯野浜温泉と相並び
奥羽三楽郷と称せらる（つづく）

＝静岡県三島市

鉱山一の「青盤脈」
開発したる宗太夫
抗内深く巡見す
油煙に汚れし壁・天井
狸掘りせる小穴など
当時の労苦身にぞしむ
道遊の割戸珍らし
露天掘りの跡にして
中空高く突き立てり

○

眺望次第にひらけきて
海の彼方に能登半島
北アルプスと立山連峰
飯豊・朝日の山山や
出羽三山から鳥海山
遠く姿を求めらる
一一七三㍍
最高峰の金北山
自衛隊用レーダー基地

○

このあたりより下り坂
舗装をせずに石ころ道

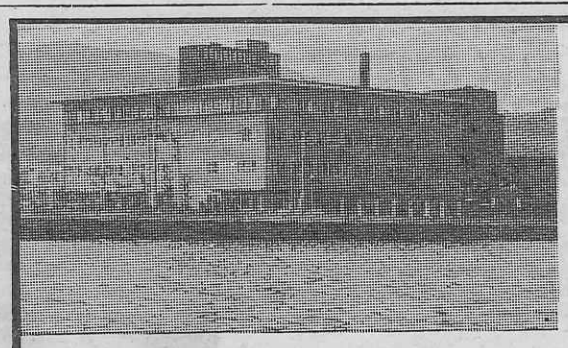
安心して泊れる旅館

東京のお泊りは
文教の地"本郷"で
環境・交通は
修学旅行に最適です

近畿日本ツーリスト協定旅館連盟
東京支部本郷地区会員

修学旅行のメッカ本郷へ
経験する仕奉で

武蔵野館	文京館	ふたき旅館		
平安荘	真成館	追分旅館		
朝陽館本家	富士館	長栄旅館		
本郷館本館別館	朝明館	春養館		
日本学生会館	機山館	（順不同）		
旅館かつら	旅館大正園			



いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台
政府登録
国際観光旅館
びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目2－25　電話　大津(0775)24－2321